

古典文学講座 紫式部のまなざし

紫式部にとって光源氏とは何者だったのか？

リアリスト
現実主義者・紫式部は、ラブロマンスという仮面を被せ、女性の社会的不幸を描き出しました。2回にわたり、『源氏物語』桐壺巻冒頭を読み解き、紫式部のまなざしの奥にひそむ「女の不幸」に迫ります。

2024年の大河ドラマの主人公である紫式部について、一足先に触れてみてはいかがでしょうか？

会場

北浦和図書館地下講座室

講師

文学研究家 長谷川 美智子氏

申込開始

令和4年9月20日(火)9:00~
※2回とも参加できる方のみ
お申し込みください

申込方法

電話、FAXまたは北浦和図書館の窓口へ

定員

30名(事前申し込み先着順)

問い合わせ

さいたま市立北浦和図書館(さいたま市浦和区北浦和1-4-2)
TEL:048-832-2321
FAX:048-832-2324

2回連続講座

開催日

10月18日(火)

25日(火)

13:30~15:00

参加無料

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座当日はマスク着用を推奨します。なお、新型コロナウイルスの影響により、講座を中止とする場合がございます。また、状況により保健所の要請に応じて、ご連絡先を提供させていただく可能性がございますので、ご承知おきください。